

ご相談はいつでもどうぞ。



日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート
日本共産党議員団
2021. 5. 20. No.1802.
御相談はお気軽に
TEL とも **3905-0970**
FAX
さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」メガシティ近く)



ことし5回目の **どんな時でも住民とともに**
まちかど・トーク **そねはじめ都議は語る**
5月9日@赤羽西5丁目
都立病院を守るために、必ず都議会にと



●都営・区営住宅の収入帯報告の時期
桐ヶ丘臨時窓口が開設
▶6月4日(月)~7月9日(金) 平日のみ
午前9時~午後4時までとなります。

訴えるそねはじめ都議です。そこには、コロナ医療の最前戦で奮闘する医療従事者への尊敬と期待、何おも都民の命を守るという決意がこめられています。

北区のコロナ対策の拠点、ある北医療センターは、皆様もご存知のように、国立王子病院が立川に移転・統合された跡地に建設された病院です。
●後医療として社会保険病院として建設され、その後も、自公政権による医療攻撃とのたたかひの中で、おに住民運動の力が現在の姿に。
●どんなに困難なときも、住民とともに、ねばり強くがんばり抜き、住民要求の実現に全力をあげる。そねはじめ都議の原点です。

5月20日号の「北区ニュース」に掲載されました。6月1日号も忘れずに。

▼下の図は、「5/20付北区ニュース」を参考に、党区議団作成。
新型コロナウイルスワクチン
*6/1付でさらに診療所など会場がふえます。3日~予約、7日~接種

5月下旬より **接種会場10カ所に1ヶ所**

○は先行に接種の3つの病院

浮間中央病院 赤羽北 2-21-19
第1接種センター 東京北医療センター 赤羽台 4-17-56
印の病院は5/20~予約がはじまります。接種は5/24からです。
赤羽岩淵病院 赤羽 2-64-13
赤羽中央総合病院 赤羽南 2-5-12
王子生協病院 豊島 3-4-15
大橋病院 桐ヶ丘 1-22-1
神谷病院 神谷 1-27-14
第2接種センター 明理会中央総合病院 東十条 3-2-11
滝野川病院 滝野川 2-32-12
第3接種センター 花と森の東京病院 西ヶ原 2-3-6

10ヶ所目は赤羽東の病院追加されました。

新型コロナウイルスワクチン接種は、5月24日から、'65~74歳の方の予約が始まります。'また、20日からは、3つの接種センターに加え、7つの医療機関での予約が開始されます。接種可能な会場は10カ所となります(図参照)。これまでと同様、コールセンターもしくは、インターネットでの予約となります。

北区コロナワクチン接種コールセンター ☎ **0120-801-222**

インターネットでの予約はこちらから→

※下線が新たに予約可能となった医療機関

要介護1~5の認定の方
要介護認定者の

ワクチン接種会場への移動支援

対象者 要介護認定(要支援を除く)を受けている高齢者のうち、会場への自力での移動が困難で、ご家族による送迎等が難しい方(付き添いの方も同乗していただけます)。

流れ ①接種予約→②下記電話で配車申込み→③タクシー会社から連絡が来て送迎の調整→④接種当日自宅まで迎車→⑤介護保険証を提示して乗車→⑥接種後、自宅まで乗車

申込み 配車取次センターにお申込み下さい。
☎ 03-3914-2227 ※月曜日から金曜日 9時より17時まで



誰れにとっても安全な東京へ。ジェンダ平等をすすめます。

- 日本共産党の立党の精神の一つは、男女平等。それから1世紀を経た今、さらに、ジェンダ平等をすすめ封。
- 区立保育園、認可保育園の増設のため、その都議は、都の有休地活用を提案し、実現させてきました。

日本共産党 そのねはじめ都議

● 保育園の送迎に、父親たちが積極的にかわり、私たちは共働きのつづけてきた世代です。
(2013年～7年前)
(400軒以上) 区議 さがらとして



記者会見する(左から)原純子都議候補、米倉都議、池内さおり副任者ら。日本共産党ジェンダ平等委員メンバー。2月18日、都庁内

2021 都議選

性暴力根絶 安全な東京へ

街に張られた「痴漢に注意」のポスター。痴漢行為が性暴力だという認識が広まりつつあるにもかかわらず、いまだに被害者に自衛を求めるメッセージがあふれています。日本共産党東京都委員会ジェンダ平等委員会は、インターネットの痴漢被害アンケートで声なき声を拾い上げ、性暴力根絶に力を入れて取り組んでいます。「痴漢ゼロ」誰にとっても安全な東京へ」は、ジェンダ平等社会を進める党の都議選公約の中心的な柱の一つです。

痴漢被害調査議会質問でいかす

党都委ジェンダ平等委員は、昨今2月発足。性被害者の支援団体や加害者治療の専門家などを招いて学習会を重ねました。「痴漢ゼロ」を政治課題に掲げるにあたり実態を把握しようと、8月から11月にかけてネットアンケートに取り組みました。1435人が回答しました。「繰り返し・連日」「幼少期からおとなになるまでずっと」など継続的な被害を受け

人生に打撃

時間がたっても精神的・肉体的苦痛は消えません。「PTSD(心的外傷後ストレス障害)の影響で大学を退学」「電車に乗ろうとすると過呼吸になり仕事を辞めた」「公衆トイレは行きたくない」など、その後の人生に深い打撃

共産党都議団 声なき声拾う

を与えています。

アンケートをもとに米倉春奈都議は2月の都議会で、痴漢対策について質問。被害を軽視し被害者を責める社会認識を変えるためにも、行政の積極的な発信や都営地下鉄の痴漢対策、加害者の再犯防止策などを求めました。小池百合子知事は痴漢など性暴力被害の深刻な実態を認め、被害者支援などに取り組むと答弁しました。

「赤い旗」
2021.5.15.木

「ムをつくり、実効性ある具体策を検討してほしい」(米倉氏)

質問で前進

初当選後8年間、性暴力根絶や被害者支援の問題に力を入れてきた米倉氏。ジェンダギャップ指数が15.6カ国中120位と遅れた日本で、経済的・社会的な格差がある上、さまざまな暴力にさらされやすい若年女性の保護・支援充実について質問してきました。

2016年2月、都議会で米倉氏は、助けが必要な若年女性が支援につながっていないことを示し、アウトリーチ(積極的働きかけ)相談活動などを提案。18年度には夜間の見回りや声かけなどを行う民間団体と連携した支援活動が都のモデル事業に。21年度から本格実施されます。

「5年前、施策からこぼれ落ちていた若年女性の問題を取り上げた時は、女性の支援はあるが若い女性の支援といわれても…」と担当部さえ明確ではなかった。今年度予算が3倍に増えて一歩前進ですが、実態に比べたら取り組みはまだまだ足りません。都議選で党議席を増やし、ジェンダ政策を前に進める決意を固めています。



米倉春奈都議